



クリーン開発と気候に関する アジア太平洋パートナーシップ

はじめに

クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップは、合計すると世界の経済、人口、エネルギー使用の半分以上を占めるオーストラリア、カナダ、中国、インド、日本、韓国、米国のアジア太平洋主要7カ国の集いである。パートナー諸国は、増大するエネルギー需要とそれに付随する大気汚染、エネルギー安全保障、気候変動の問題に対処する努力において協力している。

画期的な官民合同の努力であるアジア太平洋パートナーシップは、経済開発を促進し、貧困を削減し、よりクリーンで効率的な技術の開発・普及を促進するような手法で、これらの目標を達成するために設立された。

パートナーシップは、既存の二国間及び多国間イニシアチブの上に構築されており、京都議定書を補完しつつ、国連気候変動枠組条約の下でパートナーが行う努力に整合・貢献するものである。

パートナーシップの焦点

パートナーシップは、行動計画を開発・実施するため、8つの官民合同タスクフォースを発足させた。タスクフォースは、アルミニウム、建物及び電気機器、セメント、石炭鉱業、鉄鋼という5つのエネルギー集

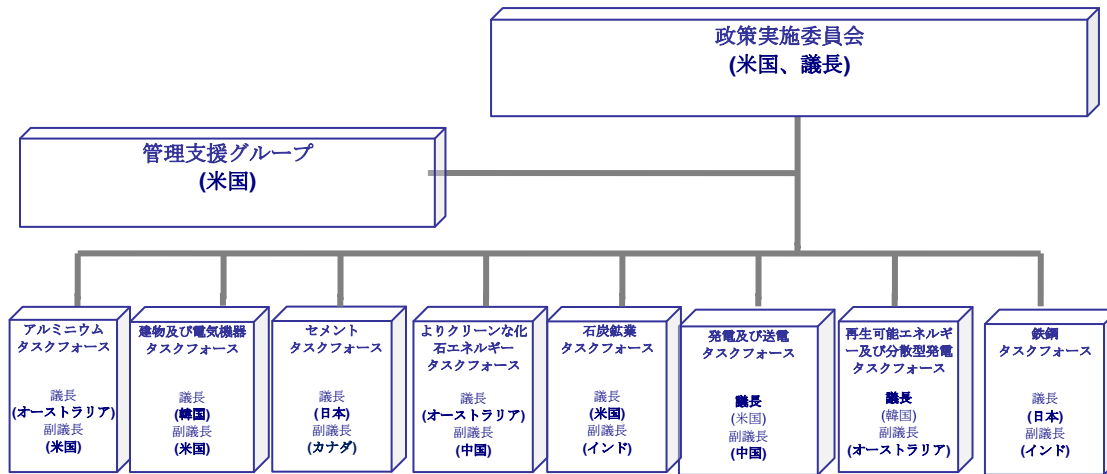
約型産業部門と、よりクリーンな化石エネルギー、再生可能エネルギーと分散発電、発電及び送電という3つのエネルギー供給産業部門に取り組む。

パートナーシップ活動

アジア太平洋パートナーシップの作業は、広範囲にわたる活動を含んでいる。パートナーシップ・プロジェクトの初期ポートフォリオは、産業部門評価、能力構築、ベストプラクティスの特定、技術研究及び実証などの活動に重点を置いている。

パートナーシップの作業の実例としては以下のようなものがある：

- アルミニウム生産におけるボーキサイト残留物の管理
- エネルギー効率の高い照明の標準化のための協力
- セメント窯における廃棄物の燃料への転換
- 石炭を燃料とする火力発電所用の炭素捕捉技術の改善
- 石炭鉱業の保健・安全戦略の開発
- 発電におけるベストプラクティスの共有
- 太陽熱発電展開の促進
- よりクリーンな鉄鋼技術活用の増大



組織構造

政策実施委員会は、パートナーシップ全体を監督し、タスクフォースを指導し、その活動を定期的に検討する。管理支援グループは現在米国が主催しているが、PICとパートナーシップを幅広く支援する。タスクフォースは、官民協力を監督する議長と副議長により主導される。

背景

アジア太平洋パートナーシップは、2005年7月に、ラオスのビエンチャンでの第38回ASEAN閣僚会議で発表された。パートナーシップはその後、オーストラリアのシドニーにおける2006年1月の創設閣僚会議で正式に発足した。当時シドニーでは、閣僚は、憲章、コミュニケ、作業計画に関して合意した。

2006年4月に、政策実施委員会(PIC)は、米国のバークレーでタスクフォースとともに会合を行った。タスクフォースは、優先課題を確認し、テーマ分野における行動計画の開発作業を開始した。

2006年10月の韓国の済州でのPIC第2回会合で、パートナー諸国は、100件近い個別の関連プロジェクト、活動を含む8つの行動計画を承認した。

タスクフォースはそれ以降、活動の実施段階を開始し、定期的に会合を続けている。2007年7月の東京におけるPIC会合では、タスクフォースはその活動を報告し、PICは新しいプロジェクトを承認し、第2回閣僚会議の準備を行った。

2007年10月のニューデリー閣僚会議では、カナダを第7番目のパートナーとして歓迎し、行動計画と100件以上の関連プロジェクト、さらに18件の最重要プロジェクトを認定し、アジア太平洋エネルギー技術協力センターの発足を発表した。

中国の上海における2009年10月の閣僚会議で、閣僚はニューデリー閣僚会議以降のパートナーシップの業績を討議し、APPフラッグシップ・プロジェクトの進捗状態を分析・評価する報告書の結果を受理した。さらにAPP PIC諸国は、閣僚会議と同時に会合を開き、APPの将来の活動を話し合い、1件の新規プロジェクトを承認した。

パートナーシップ、今後の行事、参加方法についての詳細情報をお求めの場合は、
www.asiapacificpartnership.org
 をご覧いただくか、APP_ASG@state.gov
 の管理支援グループ宛
 までご連絡ください。